

「球磨地域学」の取り組み

～「産・官・学」連携、販路拡大を目指した地域ブランディングの考察～

(熊本県立球磨中央・球磨商業高等学校)

1 球磨地域学の学習について

人吉・球磨地域の魅力を学び、地元郷土を愛し、地域人材のリーダーの育成に取り組んでいます。また、地域産業の食材・観光資源等に着目し、地域関係機関と連携を図り、地域未来の魅力の掘り起こしを学習(研究)しています。「球磨地域学(総合学習)」は、地元の10市町村の歴史や文化、商工観光関係に携わる講師による授業を通して、生徒が地域の魅力を再確認し、地域資源を活かした地域活性化アイデアの立案やアントレプレナーシップを養うことを目的に「地域学び」に取り組み2年目になります。現在は、10市町村の地域資源の更なる販路拡大を目指し、「産・官・学」連携による「ブランディング」の提案ができるように、3年間を通じた探究的な学習に取り組んでいます。



人吉市歴史遺産課による講話

2 球磨地域学における校内組織と学習教材の作成



地域活性化策のワークショップ

球磨地域学では、1年生・2年生が学習しており、事前に担当主査と各学年主任、各学年の担当者と連絡調整を図り、学習内容について、関係10市町村や関係団体機関、日本遺産人吉球磨観光づくり協議会等と連携協力体制を築きながら、組織・チームとして球磨地域学の授業計画や授業の展開を行っています。特に、学習教材については、オリジナルの「学習指導案」・「講話(活動)の柱シート」・「ワークシート及び評価シート」・「学習内容のまとめ」を毎時間作成し、球磨地域学の学習教材づくりに取り組んでいます。

3 球磨地域学における「産・官・学」との連携による学習の取り組み

(1) 1年生の主な取り組み

県立大学学生による「地域の未来を創る考え方(フューチャーセッション)」、人吉市歴史遺産課による「人吉球磨地域の日本遺産」、球磨村産業振興課による「棚田の活用」、山江村企画調整課による「やまえ栗のブランド化」、あさぎり町農林振興による「あさぎり町の薬草を活用した地域活性化策」、多良木町(百太郎土地改良区)による「百太郎溝においてよ！世界かんがい施設遺産登録」、五木村山村活性化協議会による「林業の6次産業化」、湯前町企画観光による「湯前町の地域活性化策」、歴史や文化施設を訪問する「郷土巡見」等の学習に取り組んでいます。

(2) 2年生の主な取り組み

兵法タイ捨琉(龍泉館)による「郷土の剣豪・丸目蔵人と兵法タイ捨琉」、経営者(保護者)による「起業すること」、一般公園財団(農学博士)による「資源を資産に、地域をみる(見る・観る・診る)」、「球磨川ラフティングAgainによる「(講話)球磨川ラフティングの魅力と観光産業としての発展」と「(実技学習)球磨川体験学習」、地元新聞社との連携(全7回)による「壁新聞の作成(7つのテーマ)」等の学習に取り組んでいます。



球磨川ラフティング(実技)